

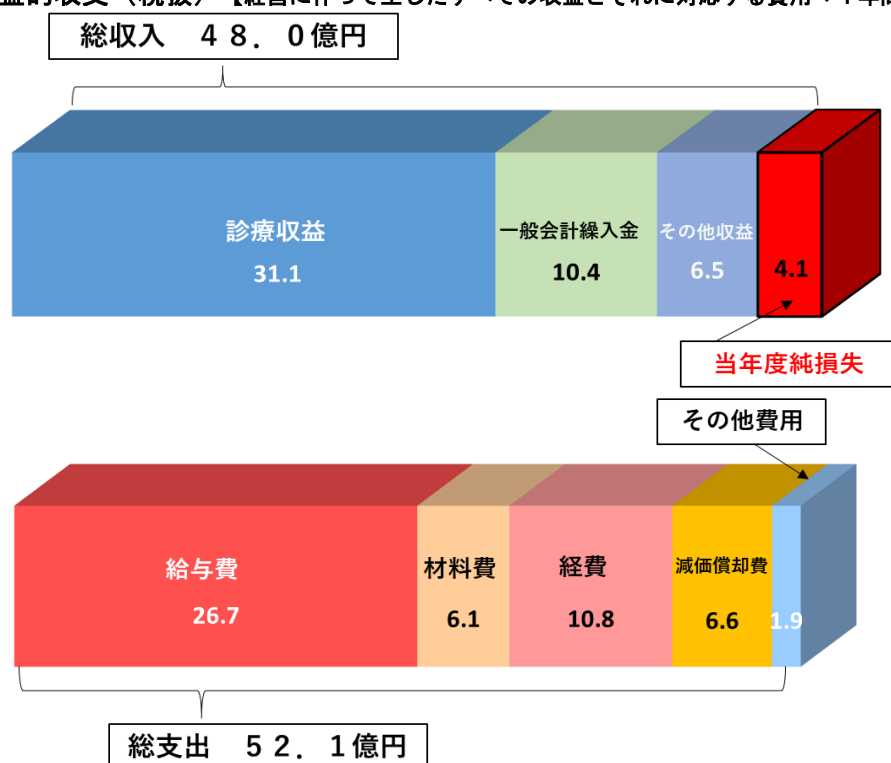
石巻市病院事業会計 令和6年度決算の概要

令和6年度の総収支は4.1億円の赤字となりました。赤字の主な要因としては、市立病院で圏域内の入院患者の受入調整や市内医療機関との連携強化などにより、病床利用率が76.46%から82.32%に5.86%上昇した結果、診療収益で0.6億円増加した一方で、施設や医療機器の減価償却に関連する長期前受金戻入が0.6億円減少したことに加えて、人事院勧告に基づく職員給与費の増加や委託料など経費の高騰により医業費用が1億円増加したことが挙げられます。

職員給与費や物価の高騰などにより厳しい経営環境にあります。今後も「石巻市公立病院経営強化プラン」に基づき、医療の質を向上させながら収益確保、経費削減、経営の効率化に向けた取組を推進してまいります。

経営状況

(1) 収益的収支（税抜）【経営に伴って生じたすべての収益とそれに対応する費用⇒1年間の経営成績】



【前年度との比較】

＜総収入＞
対前年度 ▲0.5億円 (▲1.0%)

＜総支出＞
対前年度 1.0億円 (2.0%)

＜内訳＞

◎診療収益 対前年度 +0.6億円
主に入院患者数の増による入院収益の増加によるもの。

◎一般会計繰入金 対前年度 -
(増減なし)

◎その他収益 対前年度 ▲1.1億円
主に減価償却費の減少に連動した長期前受金戻入の減少のほか、新型コロナウイルス関連県補助金の皆減によるもの。

◎給与費 対前年度 +1.3億円
主に給与改定による給与、期末・勤勉手当の増加によるもの。

◎材料費 対前年度 ▲0.2億円

◎経費 対前年度 +0.4億円
主に人件費単価の増や物価高騰により、委託料が増加したことによるもの

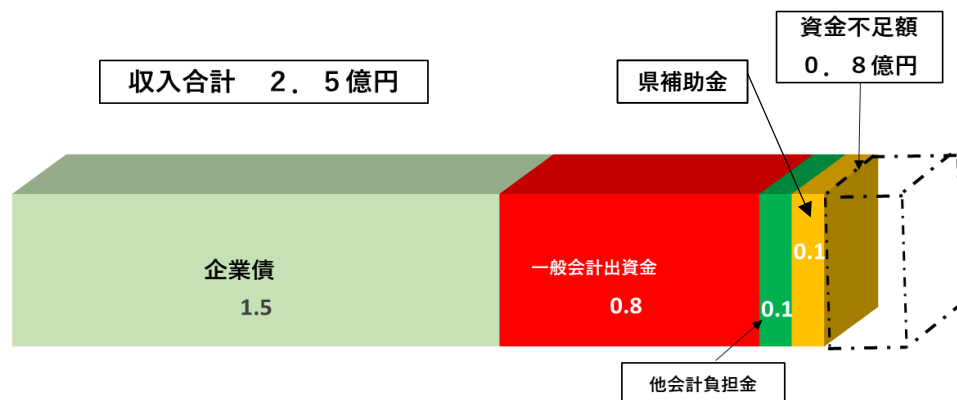
◎減価償却費 対前年度 ▲0.4億円
減価償却を終えた機器等が増加し、減価償却費が減少したことによるもの。

◎その他費用 対前年度 ▲0.1億円

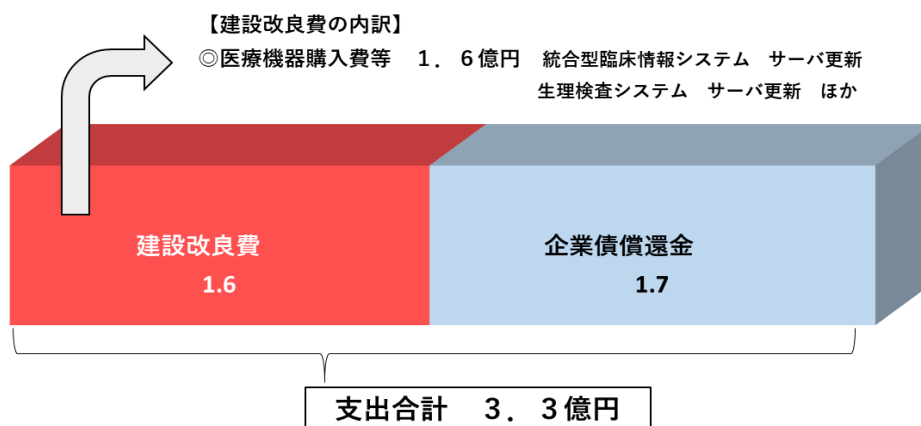


当年度純損失は4.1億円となっており、前年度の純損失（2.6億円）と比較すると、1.5億円悪化しました。
給与費が1.3億円増加したことが大きく影響しています。

(2) 資本的収支（税込）【建物や医療機器などの整備費用とその財源、借入金の返済など】



※ 資金不足額0.8億円は、収益的収入の特別利益を原資とする資金で補填している。



(3) 資金状況

資金期首残高	6.0億円
+	
資金増減額	▲3.8億円
+	
資金期末残高	2.2億円



資金期末残高は、当年度純損失（4.1億円）が計上されたこともあり、前年度から3.8億円減少しました。